

社員登用第一号！在宅スタッフから正社員へ。

～家族を大切にしながら、自分らしいキャリアを選んだ決断～

今回インタビューしたのは田崎香菜さんと株式会社HALZの取締役・馬場祐未さん。

家庭の事情や働く時間に合わせ、柔軟な働き方を選べるHALZ。その環境のなかで在宅スタッフとして経験を積み、正社員へとステップアップするのが田崎さんです。

4月から社員登用第一号として新たなスタートを切る田崎さんにこれまでの歩みと今後の展望を伺いました。

また田崎さんが所属するチームのリーダーである馬場さんには、田崎さんにどのような印象を持っているのか、これからに期待することについて語っていただきました。

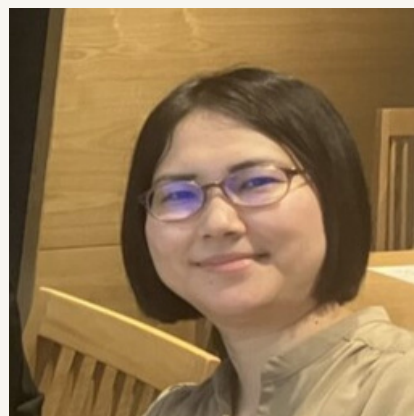


田崎 香菜さん

馬場さんのチームで給与計算などを担当。
福岡市在住。旦那さんと娘さんとの3人暮らし。

馬場 祐未さん

株式会社HALZ取締役
田崎さんが所属するチームのリーダー





田崎さんのインタビュー

在宅スタッフについて

Q1. HALZの在宅スタッフとなったきっかけは何ですか。

3年前までは鹿児島で労務・総務系の仕事をしていましたが、夫の福岡への転勤が決まりました。ちょうど娘が生まれたばかりだったので、**家庭と子育てを優先するため**に当時の仕事を辞め、一家で福岡へ移住しました。その後、**これまでの経験を活かしながら在宅でできる仕事**を探していた時にHALZと出会いました。**東京の会社でありながら、完全在宅で働ける**という点に大きな魅力を感じました。

Q2. 在宅勤務のメリット・デメリットは何ですか？

メリットは**作業に集中しやすい**ことです。在宅勤務は仕事のペースや裁量を自分で調整できるので、落ち着いて業務に向き合える点が魅力だと感じています。

一方でデメリットは、**体を動かす機会が減ってしまう**ことです。家の中で長時間座り続けるため、体が硬くなってしまいます。その分、仕事終わりや休日には娘と公園に出かけて心身共にリフレッシュするようにしています。

仕事中的様子を
娘が撮ってくれました！



Q3. 仕事と家庭の両立で工夫していることは何ですか。

仕事中は、**娘に動画を見てもらっている間に自分が集中できる時間**を作るようにしています。また、より集中しやすいように**リビングとは別に仕事用のスペースを用意**して環境を整えています。この空間を分ける工夫が、仕事のON/OFFの切り替えになっています。

さらに**スケジュール管理**にも気を配っています。納期を守るために、夫や娘の予定と自分の作業時間をうまく調整することも家庭との両立に欠かせないポイントだと感じています。

Q4. 働くうえで大切にしている価値観は何ですか。

自分でしっかり理解し、考えて行動することを大切にしています。ただマニュアル通りに進めるのではなく、本当にそれは正しい手順なのか、効率的な作業なのかを自分の中で納得するまで確認しながら、丁寧に仕事を進めるように心がけています。

正社員について**Q5. 正社員を希望した理由は何ですか。**

今年の夏ごろ、家庭の都合で思うように勤務できなくなり、申し訳なさから一度は退職を考えました。ですがHALZで働きたいという気持ちは強く、来年の4月から娘を保育園に預けられることもあったので、正社員として家計を支えたいという思いを馬場さんに相談しました。その思いを馬場さんは快く受け入れてくださり、さらに橋本さんとの面談を経て、正社員として働かせていただけることになりました。

Q6. 楽しみなこと、挑戦したいこと、不安なことは何ですか。

楽しみなこと

社内の広報活動
や営業

労務相談などのクライアント対応や社内の広報活動・営業など、これまで関わりの無かった業務に携わることです。HALZの魅力を発信することや、現在取引しているお客様との関係性をより深めていければと思っています。

挑戦したいこと

社労士資格の
取得

まだ資格を持っていないので、実務をこなしながら資格取得に向けて頑張っていきたいと考えています。



不安なこと

体力面

4月からはいきなりフルタイムの勤務になるので少し心配です。フルタイムで働いていたのは3、4年前なので、体調管理に気を付けながら家族の力も借りて乗り越えていければと思っています。

Q7. ご家族や上司の方からの反応はいかがでしたか。

夫はもともと正社員になることを後押ししてくれていたもので、とても喜んでくれました。馬場さんからは、「是非このまま継続できそうなら、今後はリーダーという道にも挑戦してみしてほしい」というお言葉をいただき心強く感じました。

自宅保育のため、いつもおもちゃに部屋を占領されています(笑)



これからについて

Q8. 長期的な展望・キャリアプランについてお聞かせください。

まずは資格を取って、専門職としての土台をしっかりと築きたいと考えています。そのうえで、いずれはリーダーのような責任あるポジションに挑戦したいです。馬場さんのように自分の業務を進めながらスタッフへ指示を出したり、進捗管理を行ったりと、チームを支えられる存在を目指しています。私も在宅スタッフの方々と共に業務を進めて、ステップアップしていきたいです。

Q9. HALZやチームへどのように貢献していきたいですか。

営業活動では、新しいお客様とのご縁を広げることで会社に貢献していきたいと考えています。また、自分自身が在宅スタッフとして働いてきた経験があるため、将来リーダーに就いた際には、同じ立場のスタッフに寄り添える存在でありたいです。スタッフの皆さんが安心して長く働けるような、あたたかい環境づくりに力を尽くしていきたいと思っています。



馬場さんのインタビュー

これまでについて

Q1. 田崎さんとの出会いについて教えてください。

2年前に田崎さんが在宅スタッフとして入社され、1年半ほど前から給与計算や社会保険手続きの業務と一緒に担当するようになりました。

Q2. 田崎さんの仕事への取り組みはいかがでしょうか。

とても真面目に業務に取り組んでいます。家庭の事情で大変な時期にありながらも、**任された業務は最後までやり遂げる**という姿勢が印象的です。時短勤務という限られた時間の中で、時間を有効活用して業務に向き合っているところに強い責任感を感じています。

Q3. 田崎さんの一番の強みは何ですか。

コミュニケーション能力の高さです。チャットでのやり取りにおいても、**丁寧に言語化ができており、スムーズに意思疎通を図ることができます**。お互いに認識のずれが起きにくいため、業務を効率的に進めることができ安心感があります。正社員になってからも、この強みを発揮してくれることを楽しみにしています。

これからについて

Q4. 正社員として働く田崎さんへ期待していることは何ですか。

現在は給与計算や社会保険手続きの業務ですが、今後は**クライアント対応や労務相談にも携わり、スキルの幅を広げてほしい**と考えています。また業務に限らず、広報活動や研修、社内イベントなどにも積極的に関わりながら、身に付けた力を発揮してくれることを期待しています。

Q5. 正社員となる田崎さんをどのようにサポートしていきたいですか。

正社員として働くにあたり、広報や営業などの幅広い業務に携わるようになります。社労士法人HALZのグループリーダーとして、**田崎さんがそうした業務に対応できる力を身に付け、発揮できるようにしっかりフォローしていきたい**と考えています。また田崎さんは向上心がとても強い方なので、今後の伸びしろに期待しながら様々なことにチャレンジできる環境を整えていきたいです。

在宅スタッフから正社員への登用を考えている方々へメッセージをいただきました！



私は在宅スタッフとして特別なことをしていたわけではないですし、正社員になりたいと言い出すにも少し勇気が必要でした。ですが、自分の将来やキャリアプランを素直に伝えたことで、正社員として働く道が開けました。時短勤務であったり、家庭の都合で働く環境が整っていなかったりしても、HALZは本当にどんな働き方にも柔軟に対応してくださる会社なので諦めないでほしいです。退職や転職を考える前に、今の土台を活かせる方法を周りの人たちに話してみると良いと思います。

もし登用を考えている在宅スタッフの方がいれば、ぜひ積極的に挑戦してほしいです。正社員はクライアントとの窓口であり、砦であるという役割を担うため、責任のある立場になります。一方で、そのような経験を通じて業務の幅が広がり、自身のスキルアップにもつながります。もっと成長したい、経験の幅を広げたいという意欲のある方は、是非正社員登用を目指してほしいと思います。



編集後記

取材にご協力いただいた田崎さん、馬場さんありがとうございました。在宅勤務という働き方の中で、家庭と仕事の両立に向き合いながら自分らしいキャリアを築いてきた田崎さん。馬場さんのお話からも田崎さんの真面目な人柄が伝わりました。その姿はこれからの働き方の一つのヒントになると思います。HALZには状況に応じて挑戦を後押ししてくれる環境があります。今回の記事が、誰かの次の一步を考えるきっかけになれば嬉しいです。

(担当：小池)